

これはなんでしょう

これはなんでしょうクイズとは（せつめい）

これはなんでしょうクイズとは（せつめい）

「これはなんでしょうクイズ」は、ある ものについて、その とくちよ
うを きいて なにかを あてる ゲームだよ。

たとえば、

これは、「白い」 です。

これは、「どうぶつ」です。

これは、「みみが ながい」です。

という とくちようから かんがえられるのは、「うさぎ」だよ。

「これはなんでしょうクイズ」で もんだいを つくったり、はんたいに
もんだいに チャレンジしたり することで、いろいろな ものの とくち
ようを つたえるための ことばを さがしたり、ことばから もんだいの
こたえを かんがえたり する ちからが つくよ。

これはなんでしょうクイズは、国語の ちからを そだてるのに ぴったり
なんだね。

これはなんでしょうクイズを やって みよう

それでは、さっそく これはなんでしょうクイズを やって みよう。



くまごろう：これは、なんでしょう？
これは、ほそくて ながいです。

たろう：・・・？
おはしかな？

くまごろう：ちがうよ。
これは、がっこうでも つかいます。

たろう：わかった、じょうぎかな？

くまごろう：ちがうね。
これは、じを かくことが できます。

たろう：そうか！えんぴつだね！

くまごろう：せいかい！

これはなんでしょうクイズの もんだいを つくって み
よう

では、「これはなんでしょうクイズ」の もんだいづくりに チャレンジし
て みよう。



「これはなんでしょうクイズ」の もんだいの つくりかた

1 もんだいに するものを きめる

まずは、なにを もんだいに するのか、きめよう。

もんだいに する ものは、「みんなが して いるもの」に しよう。

みんなが あまり しらない ものを もんだいに して しまうと、とくちょうを つたえても、わからないからね。

2 きめた ものの とくちょうを できるだけ たくさん かんがえる

もんだいに する ものを きめたら、きめた ものの、とくちょうを たくさん かんがえて おくよ。

とくちょうは、「どんな いろか」とか、「どんな かたちか」とか、「なにに つかうものなのか（やくわり）」「いつ つかうのか」などから かんがえると いいよ。

3 とくちょうを いう じゅんばんを かんがえる

とくちょうを かんがえたら、もんだいを だす ときに、どの とくちょうから いうのか じゅんばんを かんがえよう。

このときのポイントは、「たくさんの ものが あてはまる とくちょう」から さきに いう こと。



たとえば、「しろい」とか「しかくい」などの「いろ、かたち」は たくさんの ものが あてはまるよね。

もし、「じを かくためにつかう」など、たくさんの ものが あてはまる とくちょうでは ない ものを はじめに いって しまうと、すぐに こたえが わかって しまうよね。

これはなんでしょうクイズ もんだいれい

「これはなんでしょうクイズ」の もんだいの れいを いくつか かんがえたので、さんこうに して みてね。

これは何なんですか。かんがえて こたえましょう。

「これは 白いです。」

「これは りょうりに つかいます。」

「これは あまいです。」

こたえ：さとう

「これは あかいです。」

「これは ジャムの ざいりょうに なります。」

「これは 小さな たねが たくさん ついて います。」

こたえ：いちご



「これは 白いです。」

「これは 車です。」

「これは びょうきの 人を はこびます。」

こたえ：きゅうきゅうしゃ

「これは のりものです。」

「これは タイヤが 2つ ついて います。」

「これは ペダルを こいで つかいます。」

こたえ：じてんしゃ

「これは どうぶつです。」

「これは とても おおきいです。」

「これは ながい はなを もって います。」

こたえ：ぞう

「これは まるいです。」

「これは 白と 黒です。」

「これは けて つかいます。」

こたえ：サッカーボール

「これは しかくいです。」

「これは おふろで つかいます。」

「これは あわが たちます。」

こたえ：せっけん



「これは 白いです。」

「これは さんかくです。」

「これは ごはんで つくられています。」

kとあえ：おにぎり

